

2010-05-25(火)

■なくした傘を探す

朝、職場の最寄り駅の改札を出たら、傘がないことに気付いた。
駅のホームか電車の中か、どこで落したのだろう。
帰りに駅のお忘れ物取扱所に寄ってみたけれど
私の傘は届いていなかった。

なくしたのはコンビニで買った 500 円のジャンプ傘で
「どんな傘ですか?」「何か目印は付いていますか?」
と聞かれて説明するのに手間取った。
似たような傘の落し物は届けられていたけれど、
私ではなかった。

自分の物を特定するのに一番いい目印は名前だと思う。
名前を書いておけば、なくしても見つかる可能性が高くなる。

だけど名前を書くのはダサい。
小学校に入学する時、親に自分の持ち物のほとんどすべてに
名前を書いてもらったのを覚えている。
そしていつの間にか、女子の間で名前を書くのはダサいということになった。
傘をなくすまで、名前を書くという発想さえ忘れていた。

警視庁遺失物センターによれば、平成 21 年度の傘の落し物は
都内だけでおよそ 37 万本だ。
一雨降って止むと 3000 本以上の傘が拾われてくるという。

もし名前を書いていたら、500 円の傘でも戻ってきただろうか。

(アラサー女子)